

令和7年1月31日

保護者の皆様へ

山形県立鶴岡中央高等学校
校長 兼子 由香

令和6年度 保護者による学校評価について（結果報告）

日ごろ本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に本校の教育活動に対する「学校評価」を保護者の皆さまを対象に実施したところ、518名（回答率82.2%）の方からご回答をいただきました。ご多忙のところ誠にありがとうございました。いただいた回答のうち、「A：よく当てはまる」＋「B：やや当てはまる」をプラス評価として、概要をまとめましたのでお知らせいたします。

（1）全般について

18項目のうち15項目が80%以上となり、昨年度、一昨年度と同様、全般的には高い評価となりました。前年度からの推移（割合の差）は、プラスが7項目から9項目に増加し、マイナスは11項目から7項目に減少しました。また2年連続プラスの項目は3、マイナスからプラスの項目は7と全体的に高評価となりました。

（2）教育活動評価について

評価の高かった項目は、10「普通科と総合学科それぞれの特色を活かした教育活動を展開している」が94.6%、1「生徒の実態に応じた適切な学習指導に努めている」と、4「学校行事や生徒会活動を通して、生徒の自主性を育てる努力をしている」がともに91.3%でした。また、12「本校はいじめ防止に積極的に取り組んでいる」が前年度より5.3%プラスとなり、全18項目で最大の上昇となりました。一方で3項目が連続のマイナスとなりました。特に減少幅が大きい7「学校の施設・設備は学習環境の面で満足している」は、老朽化により更新が必要な施設と限られた予算の中で、今後の大きな課題と認識しております。

（3）生徒評価について

14「自ら進んで勉強する生徒が育っている」は全18項目中最低で唯一60%台となっておりますが、昨年度からは2.4%上昇しております。生徒が「自学自律」の態度が身に着くように引き続き取り組んでまいります。一方、3項目が下がり、昨年度の2項目より増える結果となりました。特に、15「生徒はよく挨拶をしている」、16「生徒の身だしなみは良い」といった生活指導の項目が下がっています。いただいたご意見の中でも、生活指導には他の教育活動以上に様々なご意見があり、真逆のものもあります。本校生徒の卒業後の進路は多様でありませんが、いずれの進路でも社会生活を送る上で一定の規律ある身だしなみや行動は必要であると考えて指導しております。指導の方法や体制については、引き続き教職員の情報共有と共通認識を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。